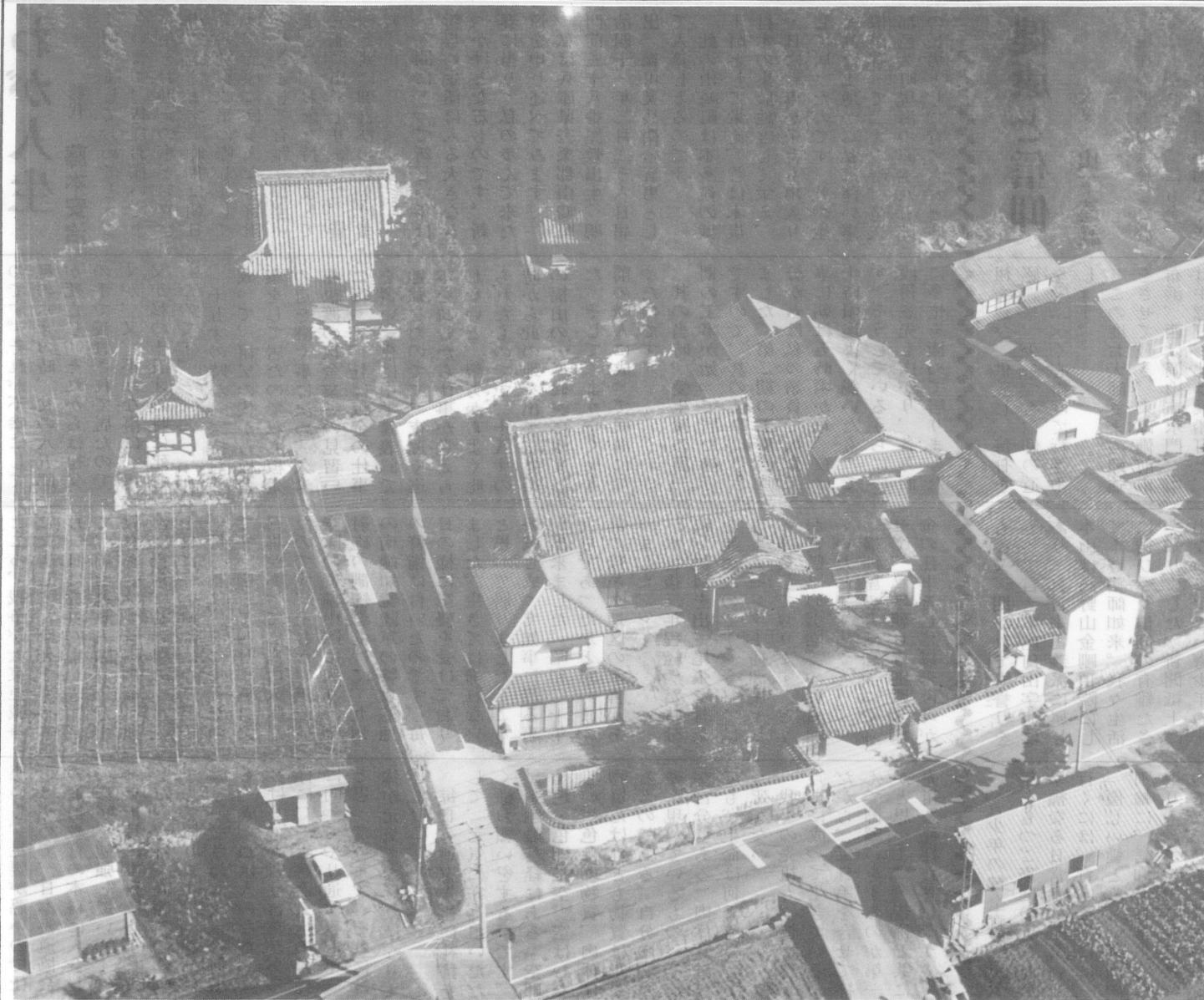


朝日寺だより

上空から見た朝日寺



発行者 住職 若松 正隆
朝日寺 総代会
印刷者 奥山印刷

新年にあたって

住職 若松 正隆

新年にあたり皆様方の益の御健勝、御活躍をお祈り申し上げます。

去年は別殿新築・開帳・鎮守堂修復・一部への修理等色々なことが相つぎましたが、皆様方の暖いご協力により朝日寺にふさわしい建造物、行事として後世に伝えることが出来ます。これは住職としてこれに勝る喜びはありません。しかしながら、中興されてからでも三百年近くを経た朝日寺の全部が、これでことがなかったというわけにはいかないのが残念ながら現状でございます。

さて、仏教はその基本は釈迦の教えであります。お釈迦さんは今から二千五百年程前、インドで活躍された人で、そこから仏教は

昔くさいというイメージを持っておられる方もおられます。それには仏教の神髄が正しく伝わらず、枝葉末節にとらわれることが多くなっていることにも関係しているかもしれませぬ。しかし、いくら年月を経ようと、真理は昔も今も変わることはありません。たとえば、因果応報ということを仏教ではいいますが、これは善因善果、悪因悪果、平たく言えば良い行いをすれば良い報いが、悪い行いには悪い報いがという事です。

現在では、良くないことの場合にこの言葉が使われることが多いようです。更に類似の仏教語として自業自得という言葉があります。この言葉の方が更に悪

いこの場合に使われているようです。良いことをすれば良い将来が、悪いことをすれば：：：という事は、過去・現在・未来が全く切り離されたものでない以上自然な道理だと思えます。昨日の自分の言葉・行動・生活態度が今日の自分を作っているわけであり、今日の自分の過ごし方如何で明日の自分を決めるわけです。このことを信じるからこそ誰もが毎日を精進するわけです。我々の回りにはたくさんのお釈迦さまがいます。縁起・四苦・輪廻・慈悲・中道・発心：：：それらの言葉を自分自身の生活の中に正しく生かしていくことは、我々の生活をより豊かにすることと思えます。

総代一同より

謹んで新年の御慶びを申し上げます。

旧年中は別殿の新築及開帳法会が行われ、檀家の皆様格別の御協力をいただき、別殿御座居ました。厚く御礼申し上げます。

さて檀家方の中には御存じの無い方もあるかと思いますが、朝日寺本堂の東側の少し高い処に鎮座されて居る鎮守堂の破損が激しく

分を決めるわけですが、一月二十二日総代全員の奉任に依り屋根瓦等を取除き修復の程度を確認の後、別殿会計残金を充て、屋根を銅板にし、建物の補修を決定致しました。

早速、希望の建設業者に集って話し合いの結果、尻海の岩田建設が九十万円で改修する事に決定し、十二月下旬修理が完了致しました。幸を御祈り致します。

淡路島七福神巡拝の感想

一参加者

十月二十七日午前七時三十分、東備有料道路から国道二号線に出、姫路手前より高速道路に入り、明石港からフェリーにて淡路岩屋港へ上陸、七福神巡拝が始まりました。ガイドさんのユーモア入りの名調子の説明を聞きながら、波静かな瀬戸の

意義なお話でありました。宿泊ホテルも充分満足出来る立派なものでした。参加者全員満足そのもの様でした。道中も和気愛々のうちに楽しく旅を続けて行きました。島で驚いたことは、邑久町の千町平野より広々とした平野が見られたこと



- 総代 長 吉田 景時
副 松井 泰吾
會計 島岡 篤
庄田 金塚 静男
渡内 三浦 正幸
大土井 児玉 正一
西部 山本清四郎
市場 片岡 寛
中東 井前 亀治
大東 木下 峻吾
敷井 和田 包一
下寺 松井 金次郎
敷井 木下 政男
下寺 小橋 静太
間口 久本 十郎
前泊 武内 勝友
虫明 内田 虎衛
尾張 藤本 安治